

ヤンチャース準優勝！ 4年ぶりの全道大会へ

6月29日(出)、30日(日)の2日間、うみ街信金ボールパーク(江差町民野球場)にて、「2024 FBC U-12・ホクレン旗・スタルヒン杯檜山支部予選大会」が開催され、上ノ国石崎ヤンチャースが準優勝を果たしました！

ブロック予選を1位で通過したヤンチャースは、決勝戦で江差フエニックスと対戦しました。先取点を挙げるも、4・7で惜敗しましたが、選手たちは最後まで諦めずにボールに食らいついて奮闘しました。

4年ぶりに全道大会への参加権を獲得したヤンチャースの活躍が大いに期待されます！



地域の課題解決へ パーソルテンプスタッフと協定

7月1日(月)、上ノ国町と木古内町は、パーソルテンプスタッフ株式会社と道内初となる「地域共創協定」を締結しました。

この協定は、人口減少や働き手不足などの共通課題を抱える両町と、人材派遣大手の同社が、人材誘致や育成などで連携し、地域の課題解決を目指します。

締結式で両町長は、「道南の豊かなポテンシャルを活かし、民間の知見も取り入れてまちづくりを進めたい。」と期待を述べました。今後、具体的な事業内容を協議し、広域的な展開も視野に入れ、取り組んでいきます。

上ノ国保育所 年長さん もんどで七夕の飾りつけ

7月4日(木)、上ノ国保育所の年長組の子どもたちが七夕の飾りつけをするために、道の駅上ノ国もんどじゆを訪れました。

子どもたちは、カミゴンに見守られながら保育士たちと一緒に七夕飾りを笹に結びつけました。

飾りつけが終わると、カミゴンや施設職員に感謝の気持ちを込めて「きらきら星」含む2曲を披露し、元気な子どもたちの歌声に拍手が送られました。

短冊に書かれた願い事が叶い、皆さんが笑顔になることを願っています。



ブロッコリー収穫 新型機械導入で効率化を図る

7月4日(木)、株式会社MORIFARMでブロッコリーの収穫が行われました。

同社では、農業の収益性向上などを国が支援する「産地生産基盤パワーアップ事業」を活用し、農業経営の効率化を図るブロッコリーの収穫機などを8月中旬から導入します。

これらの導入により、農業の担い手不足に伴う収穫量の減少を避け、経営の効率化や作付面積の拡大を図り、収穫量を増やしていきたいとのことです。

今後、さまざまな工夫で人材不足に負けない農業経営が期待されます。